

4. 四日市港の将来像

4-1. 四日市港の将来像と実現したい姿

四日市港が基本理念とする、「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」をめざすためには、3つの方向をもとに明確なビジョンを導き出すことが必要です。

産業・物流への貢献では、背後圏の経済をしっかりと支え、低コスト、高サービスの実現をめざす「伊勢湾スーパー中枢港湾」としての役割を十分に踏まえながら、四日市港の他港にはない固有の強み（四日市港のコアコンピタンス）を最大限に生かした港になることが求められています。

都市・住民への貢献では、背後圏で生活する住民を大規模地震による津波の発生など、災害に備えた安全・安心の確保に努めるとともに、憩いの場ともなる人々の交流空間を提供する必要があります。

また、環境への貢献では、環境問題がますます多様化、グローバル化し、港湾においても地球温暖化防止などへの対応が求められるなか、環境への取組が自然環境の保全・再生・創出にとどまらず、四日市港の港湾機能そのものを大きく支える力となることが重要だと考えています。

このようなことを踏まえ、概ね20年後の四日市港の姿として3つの将来像を考えました。

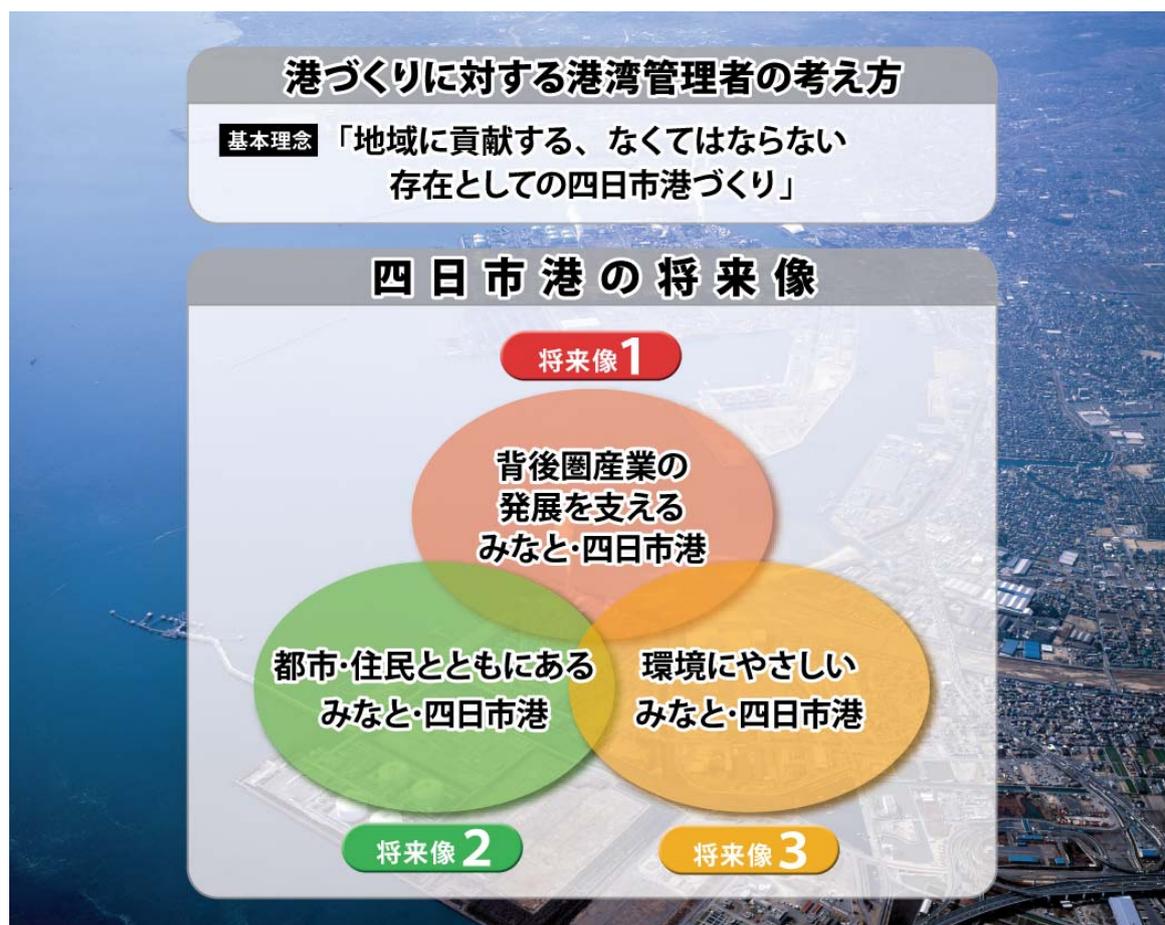


図 4.1 四日市港の将来像

将来像 1 背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港

四日市港には、「伊勢湾のスーパー中枢港湾」として、名古屋港とともに、物流面からの支援を通じてわが国産業、とりわけ中部圏に立地するものづくり産業の国際競争力を強化するという重要な役割が課せられています。また、四日市港は、直背後の臨海部には「エネルギー資源取扱機能の集積」が、さらにその背後には「知識集約型部品・部材および加工組立産業の集積」があるという他港にはない固有の強み(四日市港のコアコンピタンス)を持っています。地域社会の持続的な発展のため、四日市港にはこれら背後圏産業の発展を物流面からしっかり支えていくことが強く求められています。

こうしたことから、「将来像1 背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港」の20年後の実現したい姿を次のとおり考えました。

実現したい四日市港の姿(案)

① 中部圏における国際ゲートウェイとしての役割を果たす四日市港

実現イメージ

☆伊勢湾スーパー中枢港湾の一翼を担う国際貿易港

四日市港と名古屋港は、緊密な連携のもと、「伊勢湾のスーパー中枢港湾」としてしっかり機能し、企業ニーズに対応した効率的な港湾サービスが提供されている。

② 多くの荷主企業から頼りにされ、信頼されている四日市港

実現イメージ

☆背後圏産業を支える総合港湾

臨海部に位置するエネルギー産業、素材・部材産業の原材料輸入などに、また、背後圏に位置する部材・部品産業、加工組立産業の製品出荷などの物流拠点として多くの企業から頼りにされ、四日市港はこれら産業の発展に大きく貢献している。

☆低炭素社会を支える港湾

環境にやさしい内航海運や鉄道輸送との連携が充実していることから、四日市港はその利用により、産業物流に関するCO₂の削減に大きく貢献している。

③ どんな時でも物流機能が確実に確保される安全・安心な四日市港

実現イメージ

☆安全・安心な港湾

常に船が安全に入出港でき、四日市港は利用者が安心して利用できる港になっている。
大規模地震等の災害が発生した場合にも、四日市港は物流機能が確保される災害に強い港になっている。

将来像2 都市・住民とともにあるみなと・四日市港

四日市港の前面には、伊勢湾という海が広がり、またその背後には四日市市などの諸都市がひかえています。そのため、四日市港には、海からの災害から都市・住民の暮らしをしっかりと守るという大事な役割があります。また、港は背後のまちやそこに住む住民と海とを結ぶ貴重な空間に位置することから、これら都市・住民と決して無縁であってはならず、いろいろな関わりのなかで発展・成長していくものと考えています。

四日市港には、住民の安全・安心を確実に守るための港づくりとともに、広く住民に愛され、親しまれ、そしてまちづくりと連携した港づくりが求められています。

こうしたことから、「将来像2 都市・住民とともにあるみなと・四日市港」の20年後の実現したい姿を次のとおり考えました。

実現したい四日市港の姿(案)

① 人々が憩い、楽しむことができる四日市港

実現イメージ

☆ 多くの人々が訪れ、憩い、楽しめる港

港へのアクセスが改善され、多くの人々が、四日市港にある自然や歴史遺産、そして景観などの憩いや潤いを求め、また、いろいろなイベントが開催されることで、四日市港を訪れている。

☆ 港の文化が醸成し、住民の誇りとなる港

人々が集まることで、そこには歴史ある四日市港特有の文化が醸成され、このことによって四日市港の魅力が一層深まり、広く知れ渡ることになり、四日市港が住民の誇りとなっている。

② 都市と共に活性化し、住民を元気にしてくれる四日市港

実現イメージ

まちづくりの関係者と連携し、“みなとづくり”が活発に検討・取り組まれている。

③ 住民の暮らしを守ってくれる、頼もしい四日市港

実現イメージ

☆ 自然災害から住民を守る

海岸保全施設の整備や、住民・企業・関係機関との協働による防災対策の徹底により、人々の暮らしは、地震・津波・高潮などの自然災害からしっかりと守られている。

☆ 災害時の救援、復興の拠点港湾

大規模災害時にも港湾機能が確保され、四日市港が災害時の救援・復興活動の拠点として機能している。

将来像3 環境にやさしいみなと・四日市港

四日市港が、今後、地域に貢献する、なくてはならない存在として、その重要な役割を担っていくためには、環境と共生し豊かなみなとの環境を次世代に継承することによって、持続可能な発展を遂げていく必要があります。そのためには、港の関係者が一丸となって、港全体としてますます多様化・複雑化する環境問題に対応していこうとする、また、これまでに失われた自然環境を少しでも取り戻そうとする、さらには港の機能・活動に可能な限り環境配慮を取り込んでいこうとする姿勢やそのための努力が欠かせません。

四日市港には、高度な物流機能の発揮とともに、関係者の協働による、「ふつうの港」から自然環境と共生し、地域や地球の環境に貢献する「環境にやさしいみなと」への変革が求められています。

こうしたことから、「将来像3 環境にやさしいみなと・四日市港」の20年後の実現したい姿を次のとおり考えました。

実現したい四日市港の姿(案)

① 自然とふれあえる四日市港、人と生き物にやさしい四日市港

実現イメージ

☆ 人や生き物にやさしい四日市港

自然のままの手つかずの干潟や海浜などの自然が残っていて、そこでは誰もが容易に自然と触れ合うことができ、憩い、楽しむことができる。また、緑地や浅場など多種多様な動植物の生育空間が所々に確保されていて、四日市港は人・生き物すべてにやさしい港になっている。

☆ 四日市港内の水質や底質の改善

伊勢湾再生行動計画等に基づく多様な主体との連携した取組の結果、四日市港港内の水質や底質が今より格段に改善されている。

② 美しく、魅力ある四日市港

実現イメージ

臨海部の特色ある港湾景観が保全されている。また、周辺環境と調和した良好な港湾景観を形成するための取組が進み、四日市港は清潔で美しく、魅力ある港になっている。

③ 地域の環境や地球環境の改善にしっかり取り組んでいる、地球にやさしい四日市港

実現イメージ

☆ 四日市港における低炭素社会の実現

内航海運の活用などグリーン物流の推進によるCO₂排出量の削減、四日市港利用による陸送距離の短縮など物流の効率化によるCO₂排出量の削減、港湾区域内における荷役などに伴うCO₂排出量の削減が進み、四日市港は低炭素社会の実現に大きく貢献している。

4-2. 四日市港の取組

将来像 1 背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港

取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化

アジア域内物流への対応

バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

背後圏産業の活性化に対する支援

取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

港湾施設の計画的な維持管理

港湾のセキュリティ強化と保安の確保

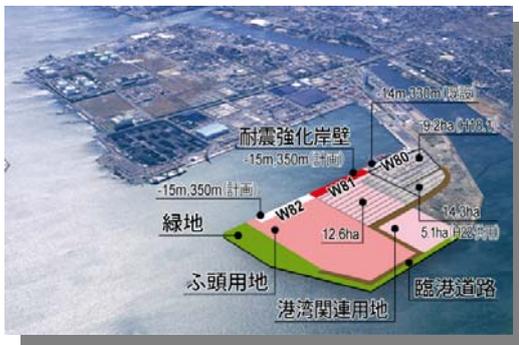
船舶航行安全の確保

災害時における物流機能の確保

取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化

- 増大するコンテナ貨物の取扱需要に対応するため、現行の霞ヶ浦北埠頭80号岸壁コンテナターミナルに連続する次世代高規格コンテナターミナルの整備を推進する。
- スピーディでシームレスかつ低廉な港湾物流を実現するため、コンテナターミナルにおけるハード・ソフト両面の施策についてその高度化・高質化(IT化、自動化)を進める。
- 臨港道路霞4号幹線の整備促進や南方面への道路を検討するなど臨港交通体系の充実を図ると共に、新名神、東海環状自動車道、四日市インターアクセス道路などの背後高規格道路網の整備促進を働きかけることによって、四日市港と背後圏域とのアクセス向上に努める。
- 港湾サービス水準の向上という背後圏企業のニーズに応えるため、基幹航路をはじめとする多方面航路の維持・拡充に努める。
- *伊勢湾におけるスーパー中樞港湾が、中部圏のものづくり産業を支える物流拠点として確実に機能するために、名古屋港や中部国際空港との連携をこれまで以上に進めるとともに、寄港コストの縮減や手続きの簡素化につながる「一開港化」の早期実現に努める。また、四日市港と名古屋港との「一港化(一体化)」については、関係機関と十分連携・協議しながら議論していく。



～現行港湾計画における霞ヶ浦地区
北埠頭完成イメージ～



～現行港湾計画における
霞4号幹線完成イメージ写真～

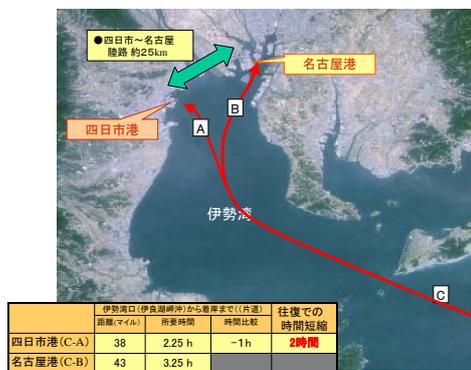
(keyword)

- ✓ 中部圏ものづくり産業の集積、背後圏産業の物流拠点
- ✓ 四日市港のスーパー中樞港湾としての機能確保
- ✓ 伊勢湾としての港湾機能確保の要請の高まり

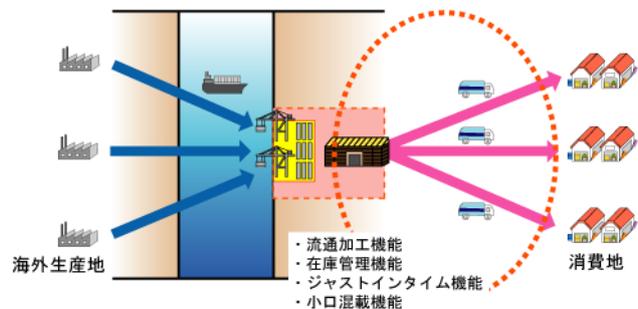
取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

アジア域内物流への対応

- 今後も増大が予想されるアジア域内物流に対応し、四日市港の地理的特性を活かした、高速、低コスト、多頻度、高品質のサービスを提供する。
- アジアの地域間連携の進展に伴い今後とも背後圏の中小企業にいたるまで交易が活発となることが予想されることから、港湾空間における流通加工・在庫管理・ジャストインタイム・小口混載等に対応したロジスティクス機能の強化を促進する。



～湾口に近い四日市港の地理的ポテンシャル～



～港湾空間におけるロジスティクス機能のイメージ

- (keyword)
- ✓ 背後圏と東アジアの交易拡大による物流量の増加
 - ✓ 国際分業の進展に伴う中間材の流動増

取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

- 臨海部産業の物流の効率化に伴って大型化するバルク船やタンカー・LNG船に対応し、岸壁、荷捌き地、上屋などの既存施設の改良や港湾施設を整備するなど、港湾機能の拡充を図り、効率的な産業物流の実現を図る。



～霞ヶ浦南埠頭2・23号岸壁で荷役中のバルク船～



～中部電力川越火力発電所棧橋に係留しているLNG船～

- (keyword)
- ✓ バルクキャリアの大型化
 - ✓ バルク貨物拠点整備の要請の高まり

取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

- 背後圏の荷主企業や物流事業者においては、地球環境問題に対応した環境に優しい物流システムの構築が必要であり、内航海運の活用や地理的特性をいかしたシー&レールに代表される鉄道の活用など、グリーン物流を促進する。



～内航自動車船～



～鉄道輸送～

- 企業ニーズに対応した物流機能を構築するため、品目による施設利用の集約等、施設の改良と施設利用の再編を進める。



～霞ヶ浦南埠頭に接岸する
バルク船、自動車船、コンテナ船～

(keyword)

- ✓ 港湾施設の利便性向上の必要性
- ✓ 多様化する物流ニーズへの対応
- ✓ 鉄道が港の近くを通っている

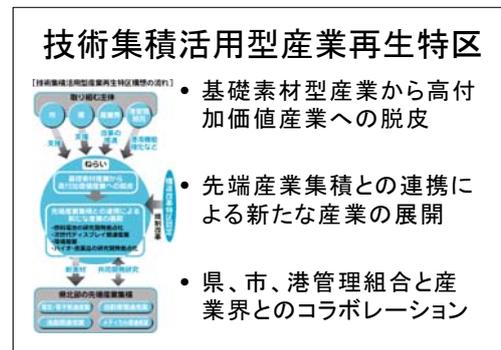
取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

背後圏産業の活性化に対する支援

- 四日市コンビナートの高度化への取組を支援していく。



～四日市コンビナート～



～技術集積活用型産業再生特区の取組～

- 現在、埋立中の石原地区(浚渫土砂埋立区域)は、将来的には、背後圏企業の成長を支援するための産業空間として活用していく。



～石原地区～

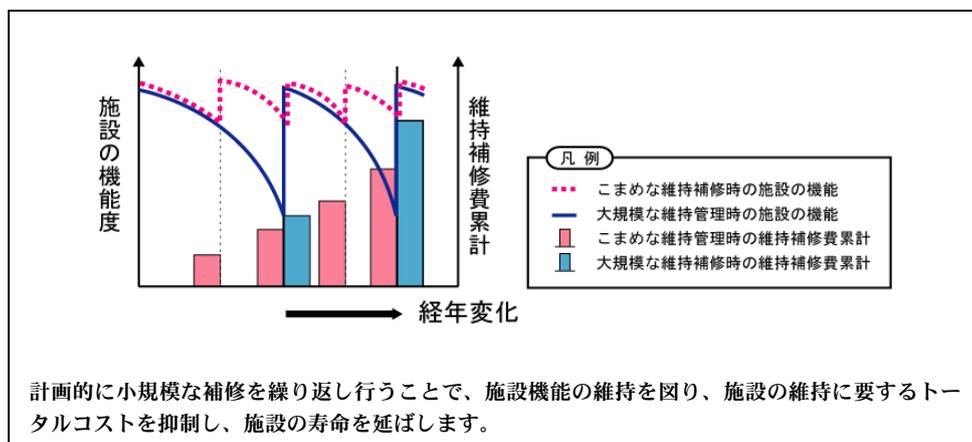
(keyword)

- ✓ 四日市コンビナート高度化の動き
- ✓ 石原地区における新たな土地の形成
- ✓ 背後圏企業の活性化への支援

取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

港湾施設の計画的な維持管理

- 老朽化した施設(岸壁、荷捌き地、上屋等)の確実な更新を進めると共に、今後順次発生するであろう施設の劣化に伴うサービス水準の低下と、更新に伴う財政負担の急激な増加を回避するため、アセットマネジメントの概念を取り入れ、計画的・効率的な維持・修繕や耐震化などの改良を実施するとともに、計画段階から維持管理に配慮した設計に取り組む。



～アセットマネジメントのイメージ～

- (keyword)
- ✓ 老朽化する港湾施設の増大
 - ✓ 港湾施設の機能性・安全性の確保
 - ✓ 施設の長寿命化の必要性
 - ✓ 維持管理費の縮減

取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

港湾のセキュリティ強化と保安の確保

- 国際船舶・港湾保安法に基づき、テロ等に対応した港のセキュリティの確保に努めるとともに、不法投棄や車両放置、不法入国等の犯罪に対して、警察や海上保安庁等と連携したパトロール、取り締まり等により、港の保安確保に努める。



～SOLAS条約によるフェンス～



～監視カメラ～

(keyword)

✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり

取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

船舶航行安全の確保

- 船舶の大型化に対応した岸壁、航路、泊地等港湾施設の適切な整備を推進するとともに、港湾利用者や関係機関と十分連携・調整しながらより安全で効率的な港内航行実現に向けた措置の実践に努める。
- 船舶の安全な航行を常に確保するため、航路・泊地等における水深の維持・確保や漂流物の除去を行う。
- プレジャーボート等の小型船舶を適正に配置させるなど、港内の航行安全確保に努める。
- 四日市港における、ポートラジオ等による入出港情報の提供等を行うとともに、レーダーやAIS(船舶自動識別装置)情報等を活用した船舶情報の提供・監視システムの構築について、関係機関と十分連携・調整しながら、その研究を進める。



～船舶情報管理室～



～行き交うコンテナ船～



～ハーバーインフォメーションシステム～
(HIS)

(keyword)

- ✓ 安全な航行体系の確保
- ✓ 小型船舶の適正収容の必要性

取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

災害時における物流機能の確保

- 災害発生時においても、物流機能を維持するために、震ヶ浦北埠頭80号岸壁に連続する震ヶ浦北埠頭81号耐震強化岸壁や四日市地区の耐震強化岸壁の整備を推進し、背後圏の経済活動を支える。
- 中部圏のものづくり産業を支える物流拠点として、災害時の伊勢湾の国際物流機能を維持するため、名古屋港との補完体制を拡充していく。
- 震ヶ浦地区のリダンダンシーを確保するため、震4号幹線の整備を進める。



～防災対策推進の方向性～

(keyword)

- ✓ 震ヶ浦地区南埠頭で緊急物資輸送用耐震強化岸壁を整備済み
- ✓ 国際物流機能維持用岸壁(W81)は、未整備
- ✓ 四日市地区の耐震強化岸壁は、未整備
- ✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり
- ✓ 伊勢湾としての物流機能確保の必要性

将来像2 都市・住民とともにあるみなと・四日市港

取組(案)2-① まちづくりと一体となった港づくり

人々が憩う、港の拠点づくり

参画と協働による「みなとまちづくり」の推進

取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

地域への情報発信・情報共有の促進、観光振興の促進

取組(案)2-③ 暮らしの安全・安心を守る港づくり

防災対策の推進

災害復興活動への支援

治安対策の推進

取組(案)2-① まちづくりと一体となった港づくり

人が憩う、港の拠点づくり

- 四日市地区では、四日市市が進めようとしているJR四日市駅から旧港・千歳地区にいたる地域での「港を活かしたまちづくり」と連携して、千歳運河や第一埠頭を拠点とする「みなとまちづくり」を進める。
- 千歳運河周辺には、重要文化財に指定されている「末広橋梁」、更には、「潮吹き防波堤」など、レトロな風景が広がっていることから、このような景観を最大限活用した「みなとまちづくり」を進める。



参画と協働による「みなとまちづくり」の推進

- 行政、住民、NPOなどの市民団体、企業など多様な主体との協働により、港の資源を活かしたまちづくりを実現する。
- 港湾空間における遊休施設などを、市民活動の場として提供していく。



～多様な主体との連携のイメージ～

(keyword)

- ✓ みなとにおける「まちづくり」の要請
- ✓ 港湾空間内における遊休施設の存在

取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

- ウォーキングコースを整備するなど既存緑地の質を高めたり、新しい緑地を整備するなど、アメニティ機能の充実を図る。
- 朝明地区から霞ヶ浦地区にかけて点在する緑地などの親水空間をネットワーク化することにより、魅力を向上させ、人々に親しまれる港づくりを推進する。
- 人々がみなとへ安全かつ快適に行き来できるように、アプローチの改善に向けた取組を推進する。



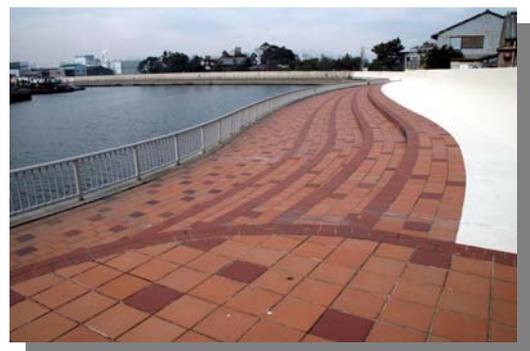
～朝明地区～



～ポートビルとシドニー港公園～



～富田地区と富双緑地を結ぶ歩道橋～



～千歳地区プロムナード～

(keyword) ✓ 憩いの場、親しみの場としての港湾空間の必要性

取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

地域への情報発信・情報共有の促進、観光振興の促進

- 「四日市港まつり」などのイベントやホームページ、定期刊行物の「四日市港ニュース」、各種パンフレットを活用し、人々と港の触れ合いの機会を創出し、親しまれる港づくりを推進する。また、これら活動を通じて、地域と情報共有し、連携を強化していく。

- 千歳運河周辺には、重要文化財に指定されている「末広橋梁」、更には「潮吹き防波堤」など、レトロな風景が広がっている。このような景観の持つ価値を積極的に意味づけ、活用しながら、一層価値を高めていく。



- 四日市港の歴史や文化、港そのものの役割・機能について、理解を深めるための機会を提供していくなど産業観光に取り組む。



- 船舶を活用した港らしさを感じる観光振興策を企業や関係機関等と連携して取り組む。

- 石油化学コンビナートの夜景や港湾活動など、すばらしい景観資源を有効活用し、四日市港の持つ魅力を広く発信する。



(keyword) ✓ 重要文化財、コンビナートなど、景観資源の存在
✓ 港湾景観の価値の高まり

取組(案)2-③ 暮らしの安全・安心を守る港づくり

防災対策の推進

- 津波や高潮から背後地を守るため、海岸保全施設の機能拡充を図る。
- 東海・東南海地震等の地震発生時の津波に対して、背後市町や住民・企業と協働し、防潮扉の閉鎖を行い人命・財産を守るとともに、避難訓練を実施することで災害発生時における迅速な対応が図れるようにする。
- 港湾利用者や港湾来訪者に対する津波情報伝達システムの構築、注意喚起看板の設置、高台・建物等の緊急避難場所の確保、水門等の遠隔操作等の導入などを進める。
- 海上保安庁などの国の機関や、県、市の関係機関と連携し、防災対策を推進する。
- コンビナート企業及び関係機関と連携し、コンビナート災害を未然に防止するとともに、災害発生時にも迅速に対応できるように体制を整える。



～防潮扉の閉鎖に関する説明風景～

- (keyword)
- ✓ 伊勢湾台風等高潮被害の経験、高潮災害の危険性
 - ✓ 地震・津波災害の切迫性
 - ✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり

災害復興活動への支援

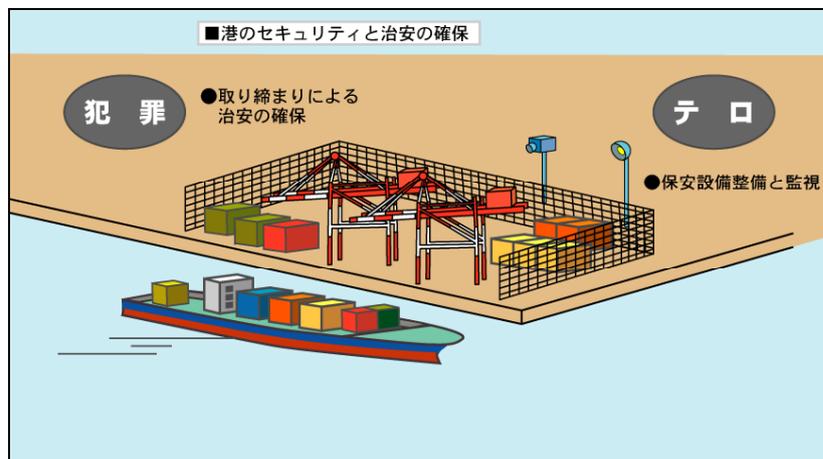
- 市街地に近い四日市地区で緊急物資輸送用岸壁等の防災拠点を整備し、また、霞ヶ浦地区においては、霞 4 号幹線や耐震強化岸壁の整備推進することにより、緊急時の物資輸送の確保や、災害時の復興活動を支える。
- 東海・東南海地震等や大型台風等の大規模災害時には、復興活動に資するため港湾空間を有効に利活用し、復興活動を支える。
- 海上保安庁などの国の機関や、県、市の関係機関と連携し、復興活動を支える。

- (keyword)
- ✓ 四日市地区の耐震強化岸壁は、未整備
 - ✓ 地震災害の切迫性

取組(案)2-③ 暮らしの安全・安心を守る港づくり

治安対策の推進

- 国際船舶・港湾保安法に基づき、テロ等に対応した港のセキュリティの確保に努めるとともに、不法投棄や車両放置、不法入国等の犯罪に対して、警察や海上保安庁等と連携したパトロール、取り締まり等により、治安の維持に努める。(再掲)
- 照明設備等の増設や住民・企業等のコラボレーションにより、みなとの中の防犯対策に取り組む。



～港のセキュリティと治安確保のイメージ～



～テロ対策合同訓練～

(keyword)

✓ テロ防止など、港湾における治安・保安対策の必要性、高まり

将来像3 環境にやさしいみなと・四日市港

取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

自然海浜・干潟の保全

伊勢湾再生に貢献する海域環境の改善

取組(案)3-② 美しく、魅力ある港づくり

良好な港湾空間の保全・創出

取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

地球環境問題(CO₂等削減)への対応

循環型社会構築への貢献

地域の環境保全に貢献

取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

自然海浜・干潟の保全

- 楠・磯津地区や朝明地区に残る自然海浜、自然干潟等における生態系を維持するとともに、貴重な自然を次世代に継承すべく関係者と連携して管理、保全する。
- 干潟や砂浜等の管理、保全及び新たな浅場の造成、野鳥等が飛来する緑地を整備するなど、生物多様性の保全に向け、海域部と陸域部が調和した多様な生物生息空間を有する複合的な自然環境の創造に関係者と連携して取り組む。
- このような取組を進めるに当たっては、河川や海岸の管理者等との連携を図るとともに、産学官の協力による実証実験やモニタリング等を実施し、効果的な施策展開を図る。



朝明地区（高松海岸）



楠・磯津地区（吉崎海岸）

- (keyword)
- ✓ 朝明地区、楠・磯津地区に残された自然海浜
 - ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり

取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

伊勢湾再生に貢献する海域環境の改善

- 伊勢湾再生行動計画に基づき、多様な主体と連携して海域環境の改善に努める。
- 港湾環境の改善に向け、汚泥の浚渫除去や北埠頭外周護岸や防波堤において藻場(コンブ、アマモ等)の再生を図るなど水質改善・底質改善の取組を進める。
- 海域環境の現状や改善のための取組を広く周知するなど啓発活動に努め、多様な主体の各種取組への参画意欲の醸成を図る。
- 清掃船による浮遊ゴミ等の回収を進めるとともに、美化運動についてボランティアなど多様な主体との連携を図る。



清掃船の活動状況



県と市民によるアマモの種まき実験
(「海蔵川探検隊・うみくら」HPより)



啓発活動(環境学習)の状況



コンブによる水質浄化実験
(国土交通省四日市港湾事務所)

- (keyword)
- ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり
 - ✓ 環境問題への関心の高まり

取組(案)3-② 美しく、魅力ある港づくり

良好な港湾空間の保全・創出

- 四日市港に今も残る歴史的遺産や文化遺産、並びに貴重な港湾景観を次世代に継承すべく保全する。
- 港湾における良好な景観づくりのために、周囲と調和した色彩計画を推進する。
- 公園、緑地等における清掃活動においては、ボランティアなど多様な主体との連携を図る。



旧港西防波堤（右）と潮吹き防波堤（奥）



末広橋梁

～四日市港にある重要文化財～



四日市港国際物流センター



四日市コンテナ検査センター

～色彩に配慮した事例～

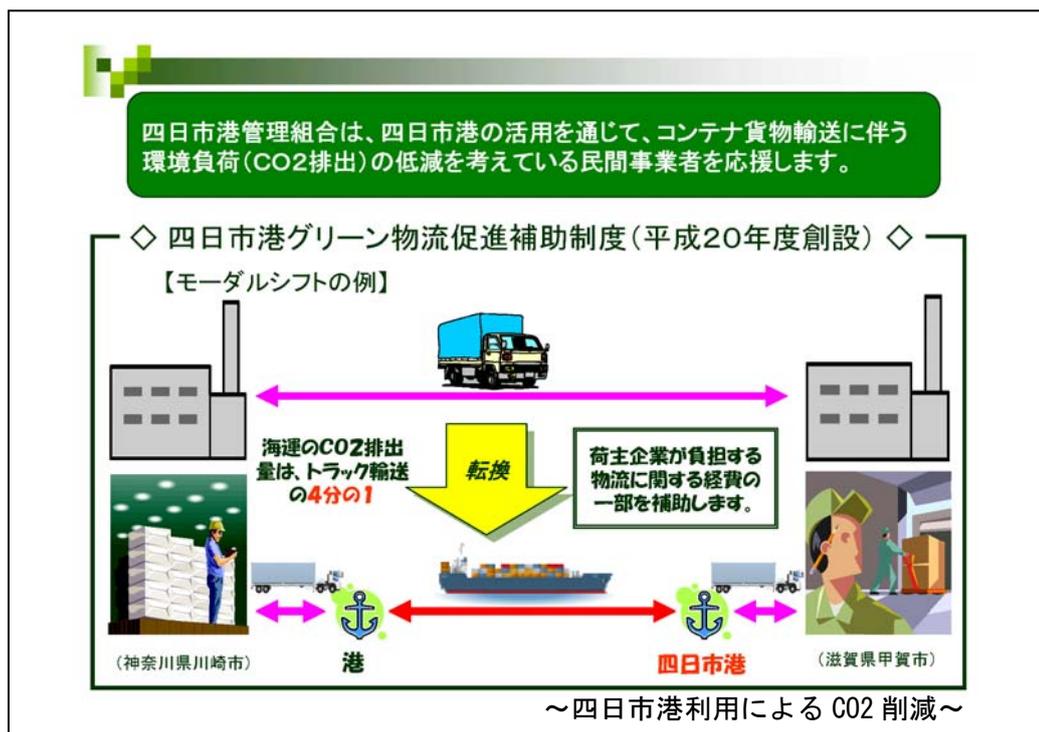
(keyword)

- ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり
- ✓ 現有資産を活かしたみなとまちづくりの需要の高まり

取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

地球環境問題(CO₂等削減)への対応

- CO₂ 削減を荷主企業の強いニーズと捉え、四日市港においてインセンティブの導入及び内航海運の活用や地理的特性をいかしたシー&レールに代表される鉄道の活用など、グリーン物流を促進する。(一部再掲)
- グリーン物流の一環として、四日市港を積極的に利用することがCO₂削減に大きく貢献できる手段であることを広くアピールする。
- 荷役作業などの港湾活動に伴い発生するCO₂等の削減を進める。
- CO₂の削減に貢献する緑化等の取組を進める。
- 周辺道路の渋滞解消に努め、大気環境の改善や騒音・振動への対応を進める。



(keyword)

- ✓ 鉄道と四日市港の近接した位置関係
- ✓ 物流におけるCO₂削減の取組
- ✓ 道路ネットワークの充実・新名神の開通(広がる背後圏)

取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

循環型社会構築への貢献

- 循環(リサイクル)資源の取扱機能・能力の向上を図り、静脈物流への取組を推進する。
- 石原地区(浚渫土砂埋立区域)は、将来的には、背後圏産業の成長を支援するための産業空間として活用していく中で、循環型社会の構築に貢献するリサイクル産業[※]等の立地可能性について検討を進める。

※リサイクル産業:循環資源(廃棄物等のうち、金属くず等の有用なもの)を取り扱い、静脈物流ネットワークの構築を図る。



循環資源(金属くず)の取扱

地域の環境保全に貢献

- 港湾の開発によるみなとの環境を悪化を防止するため、環境に配慮した施設整備や保全のための取組を進める。
- 臨港交通体系の充実などにより周辺道路の渋滞解消に努め、大気環境の改善や騒音・振動への対応を進める。
- 縣市町が主体となって進める環境行政が四日市港内で推進されるように協力する。

(keyword) ✓ 静脈物流需要の高まり
✓ 石原地区の土地利用

4-3. 空間利用ゾーニング

四日市港は、陸域約 1164ha、海域約 6600ha の広大な区域です。

この空間において四日市港の 3 つの将来像を実現していくためには、陸域と海域における効率的・効果的な空間利用が必要とされます。

そこで、四日市港の陸域と海域の現在の姿に、3 つの将来像を重ね合わせた空間利用を考えると、次の 4 つの機能に区分できます。

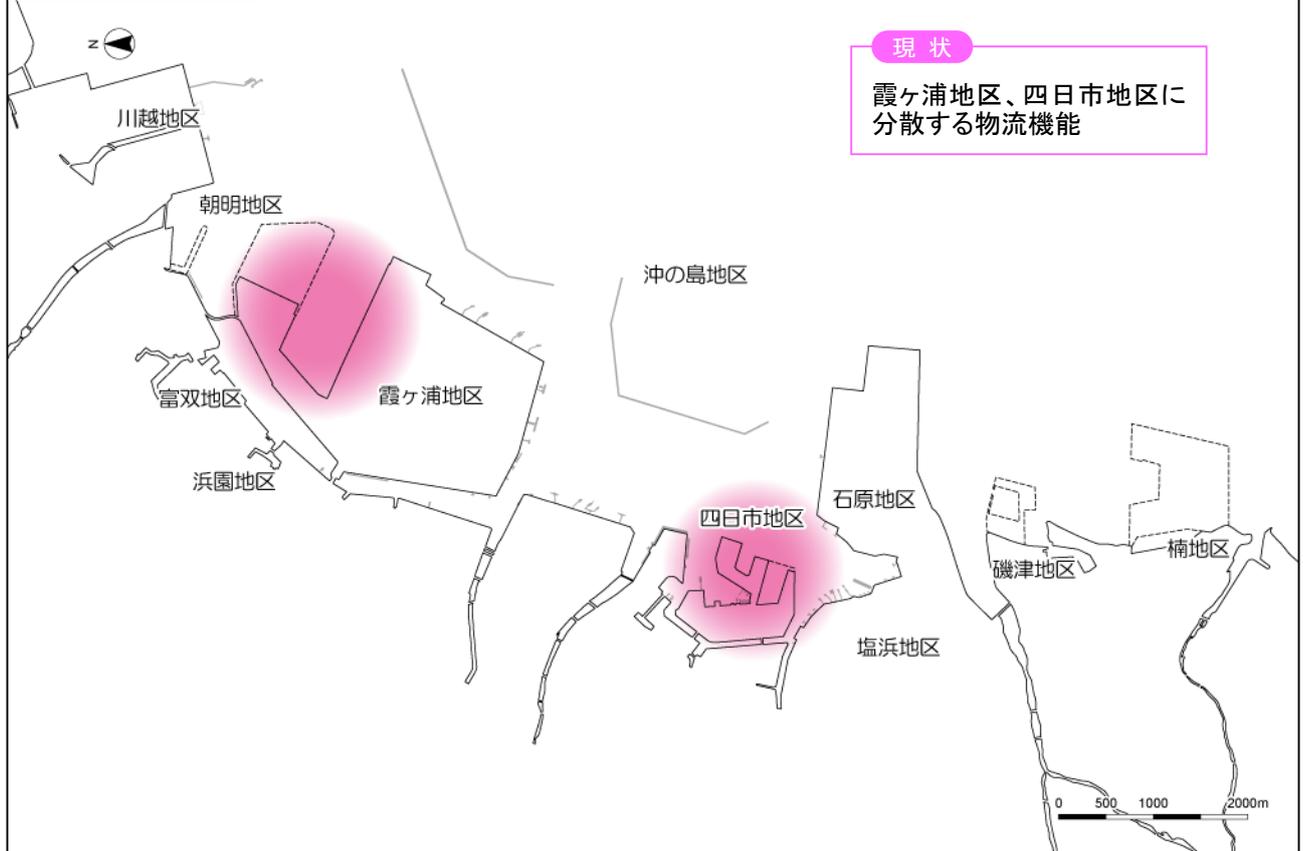
- ・ 物流・・・産業圏産業を物流面で支えるための物流拠点としての港の機能
- ・ 産業・・・臨海部産業を創造し、維持していくための産業空間としての港の機能
- ・ 交流・・・人々が憩い活動できる空間としての港の機能
- ・ 環境・・・環境を保全し、活かしていくための空間としての港の機能

こうした 4 つの機能を空間的に区分したものを「エリア」として表現しました。

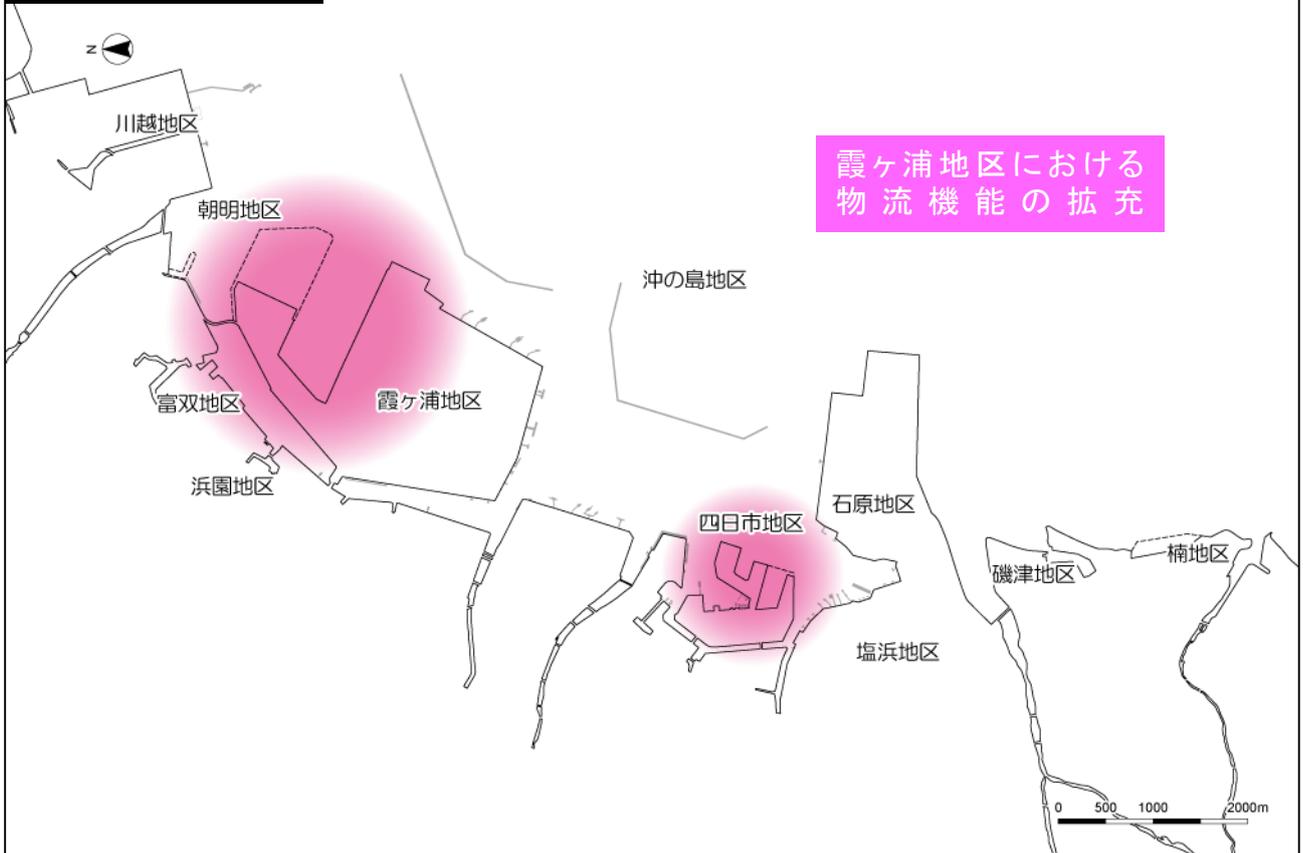
さらに、「産業・物流」、「交流・環境」という大きなくくりとなる空間利用を「ゾーン」として表示しました。

「エリア」区分、「ゾーン」区分は、その機能を明らかにするため、重複しない形で表しています。

物流機能の現況



物流機能展開の考え方



【空間利用の考え方】

将来的には霞ヶ浦地区の物流機能を拡充していく。

霞ヶ浦地区は、臨港道路霞 4 号幹線の整備推進により今後さらに背後圏からの広域アクセスが向上し、物流拠点としてのポテンシャルが高まる地区です。スーパー中枢港湾としての機能の充実・強化を目指す上で、将来的には霞ヶ浦地区の物流機能の拡充を図ります。

【地区別の主な取組】

霞ヶ浦地区

四日市港の物流拠点として、機能の充実強化を図る。

- ・ スーパー中枢港湾としての機能の充実・強化
- ・ アジア域内物流への対応
- ・ バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化
- ・ 企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

四日市地区

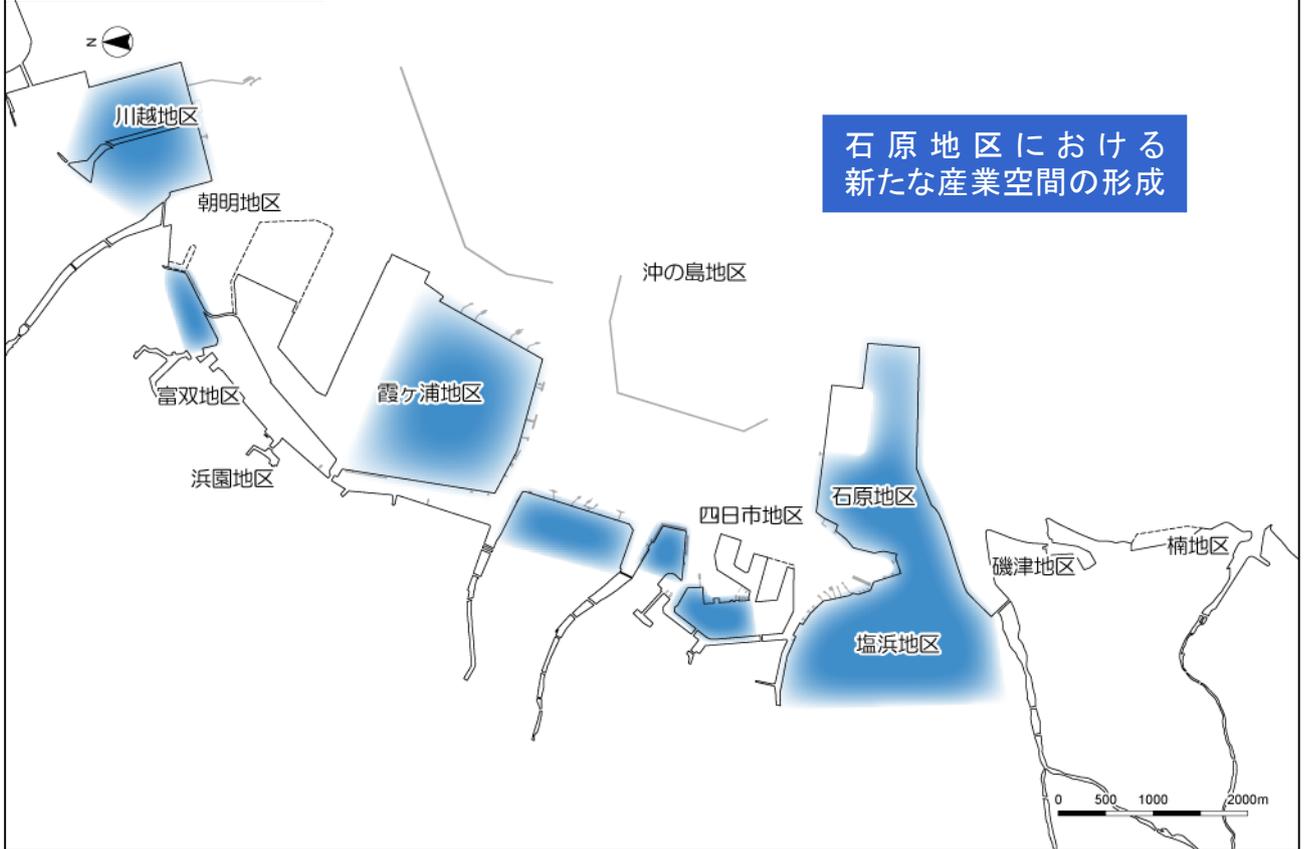
内貿及びバルクを中心に企業ニーズに対応した物流機能を維持する。

- ・ 企業ニーズに対応した港湾サービスの提供
- ・ バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

産業機能の現況



産業機能展開の考え方



【空間利用の考え方】

現状の産業用地を維持するとともに、現在埋立が進む石原地区で新たな産業空間を形成する。

現状の産業用地については、将来的にも産業用地として維持するとともに、現在埋立が進む石原地区（浚渫土砂埋立区域）は、新たな産業空間としての活用を検討していきます。

【地区別の主な取組】

既存の産業用地

産業の維持・高度化への取組を支援する。

- ・ 四日市コンビナートの高度化への取組を支援

石原地区(浚渫土砂埋立区域)

新たな産業空間として活用する。

- ・ 背後圏企業の成長を支援するための産業空間として活用
- ・ 将来的には、循環型社会の構築に貢献するリサイクル産業等の立地可能性の検討

交流機能の現況



交流機能展開の考え方



【空間利用の考え方】

現況で点在する親水空間のネットワーク化を図るとともに、四日市地区ではみなと文化や景観を活かした交流空間を形成する。

川越地区から霞ヶ浦地区にかけては、水際線沿いに高松干潟、富双緑地、霞ヶ浦緑地など、親水空間が点在しています。これらを、相互に連続性を持たせ、ネットワーク化することにより、水際線の空間全体としての魅力を向上させます。

また、四日市地区においては、みなとの文化や景観を活かした交流空間の形成を図ります。

【地区別の主な取組】

川越地区～霞ヶ浦地区

親水空間のネットワーク化により空間としての魅力を向上させる。

- ・ 人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

四日市地区

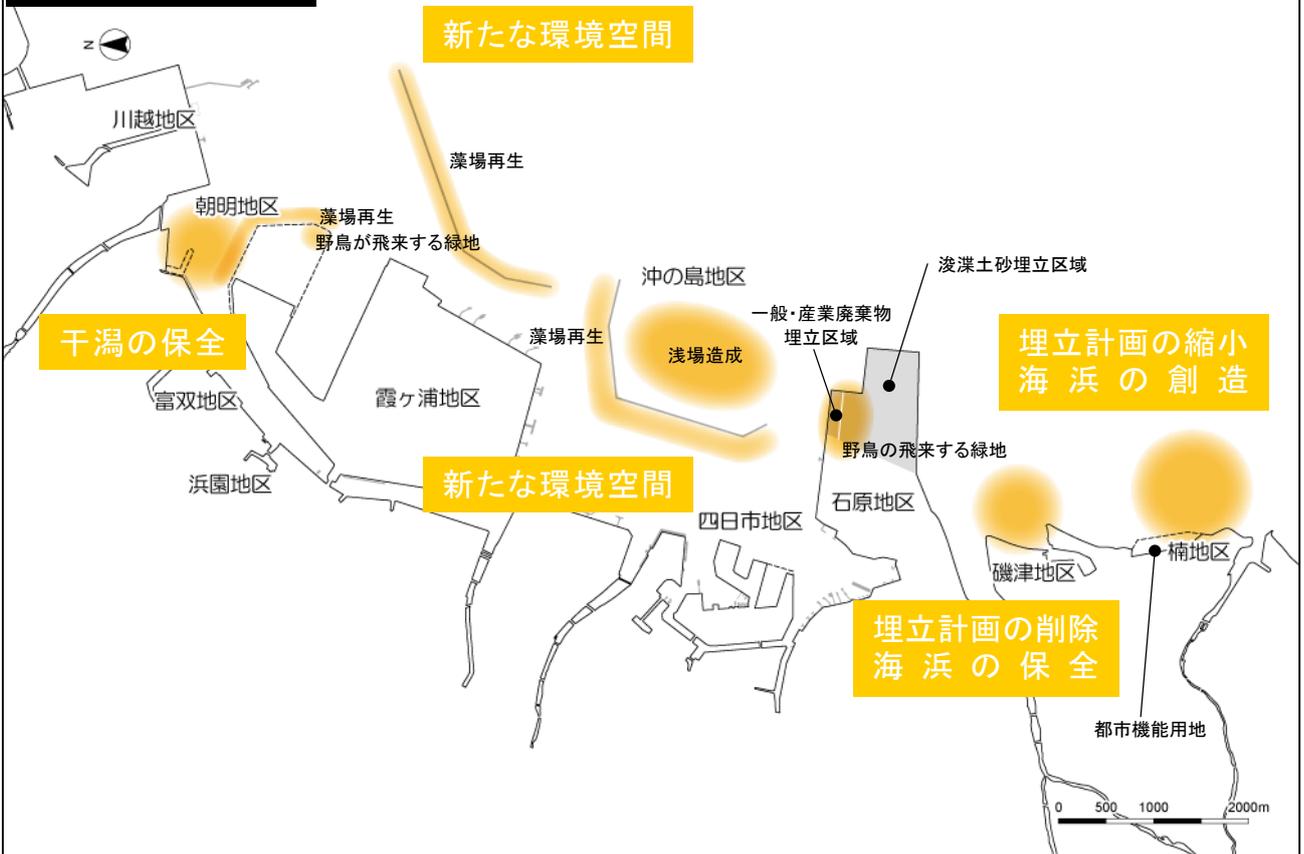
みなとの文化や景観を活かした交流空間を形成する。

- ・ 人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進
- ・ 人々が憩う、港の拠点づくり
- ・ 参画と協働による「みなとまちづくり」の推進

環境機能の現況



環境機能展開の考え方



【空間利用の考え方】

現況における環境空間を保全するとともに石原地区において新たな環境空間を創造する。

楠・磯津地区に残る自然海浜、朝明地区における干潟は、次世代に継承すべく保全していきます。また、石原地区（一般・産業廃棄物埋立区域）や霞ヶ浦地区北埠頭の最先端に位置する緑地では、新たな環境空間（野鳥等が飛来する緑地）の形成を図ります。

また、沖の島地区に浅場造成を図ります。

【地区別の主な取組】

朝明地区

貴重な干潟を保全する。

- ・ 自然干潟の管理・保全

霞ヶ浦地区

新たな環境空間を創造する。

- ・ 野鳥等が飛来する緑地（北埠頭最先端緑地）
- ・ 藻場（北ふ頭埋立護岸）

石原地区（一般・廃棄物埋立区域）

新たな環境空間を創造する。

- ・ 野鳥等が飛来する緑地

四日市地区

貴重な港湾景観を保全する。

- ・ 良好な港湾空間の保全・創出

沖の島地区

新たな環境空間を創造する。

- ・ 浅場造成

楠地区

貴重な自然海浜を保全・創造する。

- ・ 都市機能用地を残し埋立計画を縮小し、海浜の保全・創造

磯津地区

貴重な自然海浜を保全する。

- ・ 自然海浜の保全（埋立計画は削除）

空間利用ゾーニング

「産業・物流ゾーン」は、霞ヶ浦地区、四日市地区及び既存のコンビナート企業用地等を中心とする海側の空間となります。この空間は、主として物流機能や産業機能の拡充をめざし取組を進める空間ですが、四日市地区では重要文化財や千歳運河沿いの景観を活用した産業と密接に関係する交流機能を展開するなど、この中においても必要な限りの交流機能や環境機能の拡充をめざした取組を進めたいと考えています。

一方、「交流・環境ゾーン」は、今も自然海浜が残る磯津地区や楠地区、貴重な干潟が残る朝明地区から富双地区、浜園地区、霞ヶ浦地区に至る一連の水際線の空間であり、主として交流機能や環境機能の拡充をめざした取組を進める空間となります。

